

「地域ブランドワーキンググループ」設置要領

平成 19 年 11 月 12 日

1. 趣旨

地域ブランド化の取組は、地域の特性を活かした付加価値を付けて、特徴あるものや品質の高いものを販売し、消費者の支持・信頼を得て、それにより地域の農林水産業・食品産業の競争力強化や農山漁村の活性化につなげていこうとするものである。

このような農林水産物・食品の地域ブランド化に向けた各地域の取組を効果的なものとしていくとともに、広範なものとしていく観点からは、従来あまり議論されることのなかった農林水産物・食品の地域ブランド化について、様々な分野の有識者の議論を通じ、その取組の方向性や留意点を明らかにしておくことが極めて有益と考えられる。

このため、農林水産省知的財産戦略本部専門家会議の下に、農林水産物・食品における「真に力のある地域ブランド」の姿等について議論するための「地域ブランドワーキンググループ」(以下「WG」という。)を置くものとする。

2. 検討事項

- (1) 農林水産物・食品の地域ブランド化の意義を踏まえた、「真に力のある地域ブランド」の姿
- (2) 「真に力のある地域ブランド」の実現に向けての取組方向
- (3) その他農林水産物・食品の地域ブランド化の推進に当たって検討が必要な事項

3. 構成

WGは、別紙に掲げる者をもって構成する。

4. 事務局

WGの事務局(庶務)は、地域ブランドに関する関係各局庁の協力を得て、大臣官房企画評価課知的財産戦略チームにおいて行う。

(別紙)

地域ブランドワーキンググループ 委員名簿

(五十音順、敬称略)

委員(農林水産省知的財産戦略本部専門家会議委員)

大木美智子	消費科学連合会会長
金子 和夫	株式会社日本総合研究所総合研究部門新社会システム創 成クラスター上席主任研究員
土肥 一史	一橋大学大学院国際企業戦略科教授
滑川恵理子	サンケイリビング新聞社編集制作局編集企画部担当部長
野村 泰夫	福岡県農政部長

専門委員

伊藤 秀雄	有限会社伊豆沼農産代表取締役社長
伊藤 房雄	東北大学大学院農学研究科准教授
尾藪 春雄	社団法人全国木材組合連合会専務理事
指田 和人	全国農業協同組合連合会大消費地販売推進部長
四方 平和	社団法人農林水産先端技術産業振興センター調査広報部 長
佃 朋紀	財団法人魚価安定基金業務部総括
永沼 誠一	夕張市農業協同組合代表理事組合長
長谷川潤一	社団法人食品需給研究センター調査研究部主任研究員
波積 真理	熊本学園大学商学部教授